

# かいつやく

「世界大衆薬会議」特集号

昭和47年2月10日

題字・先代 藤井得三郎氏

## 本年もよろしく

東京都衛生局薬務部

薬事衛生課長

青柳 健太郎

いつも私達薬務行政のために協力していただき本当に有難うございます。  
今年も是非昨年同様のご協力をいたければと思ってます。  
最近の医薬品工業はここ数年来約30%の驚異的な伸びを示したもの  
が昨年は対前年比〇・二%の微増に止り、不況の様相を示してきました。  
さらに医薬品の安全性の問題がクローズアップされ、厳しい状態になつて参りました。

このような状況下でご健闘される皆さんの苦労は本当に大変だといふことは、私達が医薬品製造業の一員として監視、當時監視で皆さんの工場を見せてもらい、また、経営者の方々の話しを聞いても良く分ります。

果して医薬品はこんなことで良い客さんにはすこしと薬局等を廻っているプロペー等の態度を見て参りました。

このように医薬品の安全な問題がクローズアップされ、厳しい状態になつて参りました。

客さんにはすこしと薬局等を見て参りました。



モンマルトル

玉置弘三氏

それは不良品は絶対につくらないよう最善の努力をして欲しいということです。  
不良品をだすような会社は医薬品をつくる資格のない会社だと思います。

丁度機会があつて皆さんの関係の会社を数社見せてもらいました。この製剤は「セキ」の薬であったがこんな例がありました。

これは相当以前に承認になつたもので、医薬品というものが、雑貨等と異なることは十分に認識していただきたいのです。医薬品は疾病的治療、予防に使用されることが目的なのです。

その製品の用量が一回3錠あるのを一回に5~6錠飲むようにお

かというような気がします。医薬品は用法用量を守らることによって始めて安全なことは当り前にこのことと知つておりますが、自分の首をしめてしまふのではない

ことから過大安心視しているのではないか。  
それともう一つこの紙面を拝借してぜひお願いしたいことがあります。

ので現在では下限が二〇%は低いようになりますが、これは別問題として自家試験成績書を見せてもらうと七九・五%、七九・八%位で合格になつてあるではありませんか。

また、別の会社では丸剤の崩壊試験法の自家試験成績書を見せてもらうと60分で合格のものが59分、60分で合格となり出荷されていました。

もちろん試験誤差を考えて安全と判定して出荷しているのだと思います。

しかし、逆に製品のバラツキや経時変化を考えて見ると不良品になる可能性さえあります。少くとも皆さんから出荷されるものはもつと自信のあるものを持つべきではないでしょうか。

承認規格は規格として、自社から出荷するものの規格は少なくとも九五~一〇五%としたものを作り、これに合わないものは出荷しないといふ、もつともびしょが必要と思います。

自社で使用している原料の品質を十分な検査もせず、またその品物がどんな性質のものかも知らずに製造

している会社、全部が全部とは言いませんがあるのです。

もう一度自分の工場と自分の工場で使用している原料を、また製品を卒先して代表者、管理者が見直おす必要があるような気がします。

絶対自信のある医薬品をつくるために、また使用する人の身になって、品質の間違いのない家庭薬といふことで本来の使命を果たされたことを心から希望いたしますとともに

皆さん方の会社がこの苦しい状勢の中で合理化等をはかり発展されますことを祈りいたします。

書きたいこと、書きたりないこともありまして気にさわるようないじめ頭のことと思つて)かんべん下ばかりになつてしましましたが、年頭のことと思つて)かんべん下

本大会は一九七一年十一月二十九、三十日にロンドン特別市ランカスターホテルで開催され、世界各国からの代表約二百五十名の参会で盛大に終始した。

大会で私が最も嬉しく思つたのは、世界の全人類が、自己治療と大衆薬の必然性、重要性をひにその永久的存続を再確認したことである。

世界大衆薬協会(WFPM)の設立経過(年報I本文)歴史 本協会の "Proprietary Medicine" といふ名称は、大衆薬の名で販売され Self Medication(自己治療)または Home Medication(家庭療法)を

目的とする医薬品の術語名である。 Proprietary Medicine という術語名は、世界各国で異なつた意味をもつものであるため、この第一回年報を発行するに当つてその意味を明確

## 口ハシハ大会 の報告

救心製薬株式会社

石坂音治

にすることは重要なことである。この世界協会が関与する限り、この術語名は大衆自身が使用するものであつて医師の処方なしで薬局その他の店舗で大衆が直接大衆薬に名において購入できる医薬品を意味するものである。(その定義については世界協会定款第二節を参照されたい)。

もつとも医薬品工業は、人間用、動物用の両医薬品の各種を生産し、大衆に対し直接販売できる医薬品と処方箋用のものも生産するが、その大衆薬(Proprietary Medicine)"

部門に奉仕する専門協会は一八八一年早くも米国に、また一八九六年カナダに同様の協会が設立された。 Proprietary Association of Great Britain(英大衆薬協会)は一九一九年創立、その後南アフリカ、オーストラリア、西独その他に同様の協会が設立された。同期に医薬品製造業協会(Pharmaceutical Manufacturers' Associations)が他の諸国に設立された。この上記の如く、

工業協会は处方箋医薬品を市販する製造業者に限定されまた医薬品製造業の全体を含めて奉仕する団体である。

欧洲大衆薬協会(European Proprietary Association)がやめたので



ngton 会合で作成されたが、また W.F.P.M. はスイスの Geneve に正規の首脳者会談を持ったと採決した。この創立者会議で長時間の討議の結果、I.F.P.M.A とW.F.P.M.M の 2 国際協会はWHO と特に実務上の緊密な協力をなしうる点や細目にわたり探索し協調するよう I.F.P.M.A に働きかけることを決議した。

この年次報告において W.F.P.M. がその定款にもり込んだ目的を述べることは重要なことであるが、本会の目的意図は次の如くである。

- (1) 國際大衆薬産業の保全と安定を保持し改善する。
- (2) 各種会員間の接触と協調を保持する。
- (3) 大衆薬関係の製造販売および普及に関する最高の水準を保持するための援助。
- (4) 政府関与また不関与をとりわけ国家的、多数国家的組織と協力する。以上は全て世界人類の健康を向上させる目的とする。

Washington 会合直後決議がなされた結果、Miles Laboratories Inc, Elkhart, Indiana, U. S. A. & Donald L. Bryant 氏が W.F.P.M.M の理事会の初代首席として招請され

た。Bryant 氏の受諾と相まつてか President A. M. Sanderson が同理事会の副主席、歐州大衆薬協会理事 P. A. Visseur 博士が財務担当を、英國大衆薬協会理事 W. G. Hollis 氏が Director-General の事務担当することに同意した。

理事会議長による諮問通信投票により指名された理事会の創立委員は次の如くである。

米国大衆薬協会代表

Mr. D. L. Bryant

Mr. J. D. Cope

Mr. C. E. Ryfne

カナダ大衆薬協会代表

Mr. A. M. Sanderson

Mr. H. W. Bach Mr.

歐州大衆薬協会 (AESGP) 代表  
Mr. D. Callewaert

Mr. W. G. Holls

Dr. P. A. Visseur



会場のランカスターホテル

した。

歐州大衆薬協会

一九七〇年十月十一日西独 Baden

一千 U.S. \$相当額

カナダ大衆薬協会

百 U.S. \$相当額

期間に理事会の第一回会合を行なつた。通信交換で予め決定した事項が確認され記録された。そして理事会は本会の定款を採択した。初年度に

国際協議会の各メンバー協会は事務報の伝達拡充を行なうことを義務づけることに合意した。創設三協会は

一九七〇年十二月三十一日付、世界協会同期間の基金を下記の如く協議決定した。

米国大衆薬協会  
1千 U.S. \$相当額

dro Meylan, 1208 Geneva, Switzer

land とすることを登記した。

第一回総会を一九七一年十一月二十九、三十日ロンドンにおいて開催することを決定した。

この会合で理事会は、この世界協会に加盟し支援するため世界各地の適正な組織体を勧誘し招請する手段方途を長時間に亘り討議した。

Baden-Baden 総会に参会した日本代表と討議し得たことは極めて幸であった。

I.F.P.M.A の Director-General & Executive Vice-President は、これ

の11つの世界的協会が協力すべし

詳細な事項について取り決めねば

Modus Vivendi (仮契約) の草案を最終的に作製する希望をもつて既に討議し合意をえたことを報告して

来た。

Bryant, Cope, Callewaert, Hollis 氏ら I.F.P.M.A の連絡委



エアハルト前西独首相と挨拶する津村氏

記した。

二月五日に I F P M A / W F P

M M の合同連絡委員会の第一回会合を Zurich で開催した。 I F P M A の委員会は Modus Vievendi の署名時期に先行しない日付を決議したと報告した。この提案の遅延にもかかわらず協力方の討議は続行され I F P M A は数日前 WHO による N G O 地位事情を承諾したことを記き止めた。

そこで、大衆薬の配布とその大衆に対する広告の権利について討議が指名する」とを決議し事務総長は早い機会に合同連絡委員会 (Joint Liaison Committee) の第一回会合を提起する」とを提案した。

一九七一年二月の初め Cope, Ca

llewaeet, Rhyne, Hollis 氏らは Zurich におよび W F P M M の総会委員会 (General Assembly "Committee" に会合した。 (Rhyne 氏は当時 Zurich に出席できなかつた D, L, Bryant 氏の代理として出席した)。この会合で、第一回総会の

一般企図が詳論され多くの決定がなされ事務総長に勧告された。この期間に歐州大衆薬協会はその第六回年次総会を開催しました全業事を Royal Lancaster Hotel で行なうことを付

詳細なプログラムを既に受理し、これに年報が収載されたが理事会は

局の圧力を排除し大なる自由の獲得に努力することを要望した。

英國社会保健大臣ロードアバータ

君の深い感謝を表明してほしい。特

に開会式、政府主催の歓迎会におい

てまた待望の十一月三十日木曜の合

同晩饗会に出席される Minister of State, Department of Health and Social Security である Lord Abe

rdare 氏に対し深謝せねばならぬ。また英國大衆薬協会の加盟国に

対し総会に寄与された財政上の支援

に対し深謝する。

第一回二十九日午前九時半。大会の開会を宣した初代会長ドナルド・ブライアン氏は開口一番、欧

州、カナダ、米、日、南アの超国家的協力と地との労苦を深謝し、本

協会の将来に対する二つの使命を達成するよう切望した。第一は医家向

けメーカーを会員とする I F P M A

との W F P M M とが協力して活動

することにより特に WHO - FDA

また二協会の現時活動について討議

した。

W F P M M 代表はこの会合の結果

との連携を開拓することにあり、第

二に業界内部の問題として良質の安

全性の高い大衆薬の生産体制を整備

し、表示広告宣伝の自主規制を行な

い大衆の支持をうることで、政府當

に需要に対して製造されるもので

たら、西独だけでも二十億 DM 以上

の国家支出が必要追加となる。幸に

処方箋薬と家庭薬とは直接競合しな

いし、処方箋薬と一般大衆薬とは同

一の需要に対して製造されるもので

はなく、病気の治療に用いるとい

共通点はあっても治療面での出発点

が異なる。独国民は自己療法に認識

が深く、たとえ金を払っても軽い病

は自分で治す習慣を持っている。こ

れを称揚するわけではないが、個人

の独立心が自由な幸せを求めるとい

う傾向として希望的に考えたい。こ

れも、もし西独国民がこの自己治療

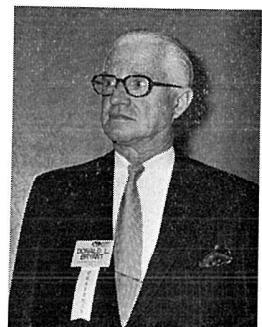
の習慣を禁じられたとしたら、西独

健保は毎年十億 DM 位ずつを医師の

診療報酬と薬剤費に追加されねばな

らない。消費者の一人として大衆薬

業界が数百年來の実績経験を科学と



プライアント議長

の執務状況を講述し大会加盟国参會者の理解を求めた。

コーヒー休憩三十分間

医学の知識と実際の基盤の上に生かしていこうことが重要で、歴史的な発展のほか家庭医療の経済性についても大衆薬の立場を積極的にアッピールすべきだと声援を送った。

アーレズ・C・エドワーズ氏は「米国における家庭療法の役割」と題し、本大会まで過去一年半の下地活動を高く評価し、特に適正広告基準の自主的設定、WHOとの緊密な協力、医薬品情報の交換、安全包装についての認識など賛辞を送り、大衆薬療法が全世界において保健対策に重要な部分を占めていること。特に消費者の健康保持に医療の治療のどこかない谷間に對し社会的重要性を力説した。今後益々会員諸士が行政当局と共に法の適正な「運用規制に一致協力されることを要望した。

具体的に大衆薬の登録制の支持、FDAが鎮痛剤、咳止め、下剤、制酸剤など米国大衆薬の再評価小委員会

力が緩和で、簡単で比較的安全な教育を推進することを力説した。幸い大部分の大衆薬は処方箋薬より効力が長い間使われて来た成分を含んでおり。また、かなり厳格な広告の自主規制がメーカー側で実施されていて、大衆薬の安全な使用に役立っていることも事実で、責任のある適正使用を進めて来た。その実績を評価し、同氏は英國当局が大衆薬について包装に用法用量などの解説表示を指示している反面、一方処方箋薬が劇薬などの使用された場合でも用法口授として投薬している例のあることを指摘し批判した。このように

べきで、その前提にはメーカー側が必ず薬効と安全性に責任を持つことが必要である。法的取締りをさけるためには自主規制が最良の方法と述べ、各社が品質基準を自主的に改善し、

十一時半再開。英國医薬品委員会委員M・スバルトン氏は「製薬業者の責任」と題し、大衆薬の販売に問題のある政府当局の干渉は最小限度にする

云者、英國大衆薬の上位性を承認した。

今日では、逆に保管上などの点でより処方箋薬以上の処置が実行されてくると説いた。氏は医薬品全般から云



エドワーズFDA長官

解しながら軽症について大衆保健とし、大衆薬の重要性と実績を高く評価し、大衆の自己治療の教育と大衆薬の安全性と自主的向上と責任の重大さを力説した。

第一日の特別講演は、以上のように大衆薬の評価、医薬品の安全性、薬効評価、製薬企業の自主性などについて名士の認承を明確にしえたことは最大の収穫であった。

十一月三十日午前九時半再開。パ

今日では、逆に保管上などの点でより処方箋薬以上の処置が実行されると説いた。氏は医薬品全般からしても英國大衆薬の上位性を承認した。

一般医学委員会会員のジョン・フライ博士は「医学的見地からみた家庭療法に開業医に対する利点」と題し、医療の実際は薬業界の協力の絶対的必要性を強調し、医師の専門細分科制が高いほど保健医療に対する医師自身の個人的無力を述べ、図

第二議題「世界大衆薬協会の会員に対する広告自粛の支援方法」で、

日本の水木氏、英、瑞、米、仏、加が講師となり、表現の自主規制と当局の規制との齟齬が論議され、極めてその難解なことを知った。一般座から私も挙手したが時間ぎれとなり議長に意見書を提出した。

第三議題「安全包装」特に小児対策が討論され、日本の石坂、仏、加、米、英の講師で、カナダで目下実施中だが、現実には未解決の由、実物解説もあった。私も意見書を議長に手交した。

第四議題「世界大衆薬協会の活動と将来計画」講師には日本の津村氏、英、西独、米が立ち、本会の目的、拡大強化策、IFPMAとの連携活動、超国家政策、具体的問題として一般席からの質問もあり、その一

つとして術語用語表現の国際統一化を難事だが着手中の由報告された。

各議題とも約四十五分間で先ず

Introductory Speech のうち、

各講師の発言があり次いで一般席から質疑応答となつたが、何れも極めて熱心で活発なため時間切れもあって充分意をつくせなかつた。意見書の提出も受理された。本大会で、英語、仏語、独乙語の他日本語が正式用語として採用されたことは、日本大衆薬の一実績として誠に喜ばしいことであつた。

十二月一日は、欧洲大衆薬協会第六回年次総会が開かれたが、私は十二月四日台北国立大学講堂で台湾薬学会第六十年総会に出席し、祝辞と特別講演を行なつたので、津村重孝氏の出席を願つた。

E E Cを中心とする経済問題が主題の由だつた。

出席者（発言順）  
武田 猛 日薬連・専務理事  
津村重孝 津村順天堂・副社長  
石坂音治 救心製薬・研究部長  
滝沢英夫 太田胃散・研究部長  
森本楨純 鈴木日本堂・営業部長  
堀内 功 堀内伊太郎商店・専務取締役  
市川一雄 金冠堂・総務部長

## 座談会

### 「世界大衆薬

#### 会議に出席して

武田 今回は第一回の世界大衆薬

でございます。

津村 確かにいまこういう大会が

できた、ことしが第一回であるとい

うのは少しおそかつたのではないか

に国际的にも面白を施したと私は受

け取つております。

そこでこの世界大衆薬協会、これからも多数の人がご参加いただいてたいへんにぎやかであつたし、同時に国際的にも面白を施したと私は受け取つております。

形であらわれたか、こういうものが設立されたかということを私は行く前からちょっとと考えておつたわけでですが、やはり大衆薬に関するいろんな

設立されたかということを私は行く前からちょっとと考えておつたわけですが、やはり大衆薬に関するいろんな

設立されたかということを私は行く前からちょっとと考えておつたわけですが、やはり大衆薬に関するいろんな



武田猛氏

な問題、あるいは悩みというものが各国にあるように思うんです。このことは津村理事がいろいろな会合に出られて、よく聞き、よくお話し合いをなさっていますから、まず津村理事からご説明お願ひしますが、この世界協会ができた背景というもの、あるいはなぜいまの時期にこれができたか、こういうことについて各種の会議に出ておられる津村さんから、まずお話を伺いたいと思うわけ

という話がありまして、日薬連にモローサンから世界組織をつくりたいといふ話がありまして、私呼ばれてまいりましていろいろお話を伺つたんですが、その時期にはいまほど世界的な意味で、われわれが一つの組織をつくるなければならぬといふような必然性がなかつたように思ひますので、私はいまのところそういう必要はないんじゃないかとお答えしたわけでございます。それは私の認識不足であったので、アメリカの

企業は世界企業が非常に多いので、すでに方々からインフォメーションが入っていて、これは近く世界組織をつくらなければならぬことになるのに違いないと、そのときすでに感じておられたのかかもしれないと思ひます。

というのは現時点でいろいろ見てみますと、各国とも悩みが同じであるといつてもいいんじゃないか。同じくいうことばがほんとうの意味の同じではないんですねけれども、本質的には同じ悩みを持っていて、非常にきびしい批判を受けていますし、同時にきびしい批判を受けながら一面大衆薬の使命の重大さといいます。ですが、それは当然認められるし、だんだん価値が高まりつづるという気もする。しかし高まりつつありながら、一方ではきびしい制限を受ける。制限の受け方が必ずしも科学的な理由だけではなく、政治的な問題にからんでくる。それをどういうふうにして一番有利に、一番われわれとして正しいところに持っていくかということについて、各国とも同じような悩みを持っている。そこでわれわれはわれわれなりに悩みについて説明すると、その国的事情は日本とは全く違うと思うの

に、その国のメーカーは、いや、わが国はおたくと一緒にすることをどこの国に行つてもいう。そのとき多少疑問を感じたんですが、よく振り返つてみると枝葉末節は違つてゐるけれども、全く同じような条件のもとにあります。そういうような背景にあつたからこそ、この大会ができたんだと私は思います。

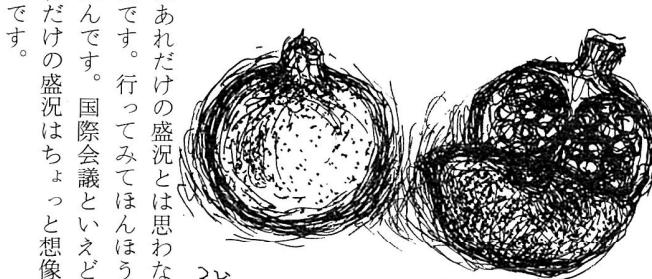
しかし大会そのものは実は多少お祭り的な意味がありますし、これによつて世間の注目を引き、いまいっただような政治的な意味の、われわれへへの圧迫をむしろ緩和するといいますが、これを機会にPRするという目的を持つてますから、大会そのものでは、あまりわれわれのために直接知識になるようなことはなかつた。しかし確かにこれだけ大ぜいの人間が集まつて、この問題をこれだけ真剣に議論したということは、それだけ共通の場があつたということは、と、共通の場を持たなければならなかつたということと、二つの問題があると思うんですが、先ほどちょっと堀内さんからもお話をあつたように、大会に出るだけではなくて、そ

に、その国のメーカーは、いや、わが国はおたくと一緒にすることを意義じゃなかつたかと思うんです。世界大衆薬協会の第一回の総会、件のものにある。そういうような背景にあつたからこそ、この大会ができたと、私はそれを今度行つてますます確信してきたわけです。

武田　まさにそのとおりです。私

薬、あるいは大衆薬といつておりますが、日本でいういわゆる一般薬と先進諸国における大衆薬、そういうものについての相違点、あるいは扱い方の異なる点、こういう点は石坂先生や滝沢さんが科学者として感じておられたと思いますが、そういう点についての石坂先生や滝沢さんのお考えは、あるいは受け取り方はどういうことでございますか。

石坂　昨年今大会の予備会議に、オブザーバーとして出ましたが、昨



はあれだけの盛況とは思わなかつたんです。行ってみてほんほうに驚いたんです。国際会議といえども、おなじやないかという感じで行つたんです。国際会議といえども、あれだけの盛況はちょっと想像外だったのです。

堀内　私もそういうふうに思いました。もっと簡単な会議、五、六十人じゃないかという感じで行つたんです。そしたら二百五十名も出て、

あの会場一ぱいになるような盛大とは思つていませんでした。だけれども非常に盛大だつた。やはりあいつ会議に出てみて、あとで振り返つてみると、われわれのメーカーも世界共通の悩みに対してもつと真剣に取り組んでいかなければいけないと感じは深くしました。

武田　大衆薬、こちらでは家庭薬、あるいは大衆薬といつておりますが、日本でいういわゆる一般薬と先進諸国における大衆薬、そういうものについての相違点、あるいは扱い方の異なる点、こういう点は石坂先生や滝沢さんが科学者として感じておられたと思いますが、そういう点についての石坂先生や滝沢さんのお考えは、あるいは受け取り方はどういうことでございますか。

りした。どうしても、必要なものである。どんな先進国であっても、後進国であっても将来も、絶対に必要なものであると、そういうことをこの大会ではつきり受け取つております。それ以後こまかい問題は津村さんもおっしゃいましたけれども、詳細な問題については、今後の問題として討議されていくんだろうと、そういう感じであります。

**滝沢** 各国では事情の違いがあります。私が日本にいましたときに外國はもと不自由だらうと思つたんですが実際に行って薬局でいろいろ買つてみますと、意外に簡単に買えます。ただ外人だから売つてくれたのか、その辺はわからいんですけれども、向こうの人の話を聞いても確かに抗生物質をよこさないとか、そういう点はあります。それは日本のほうが少しだらしないといふ点があるんだから、そういう点は当然かもしれないということを考えると、案外向こうのほうが、われわれが考えたよりゆるかつたですね。

それからもう一つは、イタリアなんかはいわゆる大衆薬の割合が非常に低いといわれているんですけど、フ

ランスは実際は大衆薬の割合は低いんだけれども、健康保険で個人の負担が割合高いんです。そのためちょっととした病気で一々医者にかかるのはたいへんだからということでお、大衆薬におぶさつている人がけつこういるらしいです。それで案外たくさん的人が大衆薬を使つていて、というふうに、私は聞いているんです。結局健康保険の問題は、大衆薬の量的な消化に相当影響を与えるだろうということは思いますね。

それから日本でもいま確かに大衆薬は全体的には下がつてきているけれども、これから上がつていくんじゃないでしょうか。医療問題全体の、今度の大会でもわかるんですけども、だんだん経費がかかり過ぎてくるという医療問題、そういう問題から何でもかんでも健康保健に頼つていくというのは無理が出てきて、やはりある部分は大衆薬に戻つてくるというのが出てくるんじやないかという気がしているんです。

**石坂** 昨年の予備会議でも今度で、やはりある部分は大衆薬に戻つてくるというのが出でてくるんじやないかという気がしてます。では、ぼくはあそこで個人的にも聞かれたんですけども、日本では薬局以外にはあまり売れないと、そこが向こうでは雑貨屋でも八百屋でも売つております。そういう売る場所がだいぶ違います。

**武田** 確かにおっしゃるとおり、市川 欧米のほうの大衆薬の種類は、一つは先ほどのようにお医者さんが処方して被保険者が薬局に行つて大衆薬そのものを売つていただきと、そういう大衆薬それから医者の処方でも保険を利用しないで買える薬。それから医者が処方しないけれども薬局だけで売れる大衆薬。それから薬局以外のどこでも売れる。これは医薬部外品だらうと思いますけれども、それという四つの種類に分かれています。今後も落ちないであろうと、いうことです。これはやはり医師にかかる多くの時間をかけて治療を

受けるということは非常に苦痛になるわけです。経済的な負担だけではなくて時間的な問題もあると思います。そこで日本における大衆薬と認められている範囲と、欧米諸国の大衆薬という範囲には相当開きがあります。私はアメリカでもちょっと薬局を回つたんですけども、ちゃんときまつっているんです。これこれは医者の指示がないといけない。すごく分類がだいぶ違うんです。アメリカはつくりしています。その具体的な範囲が日本より相当広くあるんじゃないかということについては市川さんどうですか。営業面からごらんになつた森本さん、そういう点についてのお考はどうでございましたか。

**市川** 欧米のほうの大衆薬の種類は、一つは先ほどのようにお医者さんが処方して被保険者が薬局に行つて大衆薬そのものを売つていただきと、そういう大衆薬それから医者の処方でも保険を利用しないで買える薬。それから医者が処方しないけれども薬局だけで売れる大衆薬。それから薬局以外のどこでも売れる。これは医薬部外品だらうと思いますけれども、それという四つの種類に分かれています。今後も落ちないであろうと、いうことです。これはやはり医師にかかる多くの時間をかけて治療を



石坂音治氏

つきりそこを五段階ですか。ABC

口止まで出します。

森本 日本でいう大衆薬から見た場合、販売する範囲が非常に広いですね。いわゆる薬局以外のところでも売れる商品がたくさんある。そういうものが日本とちょっと違うでしょ

堀内 それは国によつて違うんで  
しょうね。アメリカあたりでは薬局  
外で売れる大衆薬、ヨーロッパでは  
また違うんです。

卷八

**堀内** ヨーロッパは、やはり医者の処方で売る場合と、個人で自由に買える場合と二とおりあります。

森本 いわゆる薬局だけでないと扱えないような商品が、欧米においてはそれ以外のところで売られている商品のほうが多いということになりますね。

津村 みなさんのお話をそこになりますと一つの大問題にぶつかることになるんですけれども、それはことばの問題が実際にややこしいと言うことなんです。一口に大衆薬といつてもAという国における大衆薬とBの大衆薬と日本の大衆薬は、ある部分は一緒なんだけれども、かなり違っているんです。日本で医薬部外品

といって、いるものが、ある国では大衆薬の一部である。そこら辺の問題がややこしいのですから大衆薬はどこで売られるんだということをいいますと、日本の大衆薬と全く同じ大衆薬がどこかで売られているように思えるんだけれども、いざ分析してみると内容が非常に違う。

いへんな誤解を生じて困っていると  
いうのが薬の業界においてははなは  
だしいんです。

ですから、アメリカでは大衆薬は  
雑貨屋で売っているんだ。自動販売機  
で売っているんだということばが  
出る、そうするといふに日本でい  
う大衆薬すべてがそうなんで、そう

訳した場合にプロプライタリーメディシンと、フランス語の場合は、ラ・フェダラシオン・モンジュアル・デ・ファブリカン・デ・スペシアリテ・グランプユブリックとか、大衆に対することばが違うんです。同じ大会の名称です。ですからからしら文字で並べた場合に違うんです。そ

訳した場合にプロプライタリーメディシンと、フランス語の場合は、ラ・フェダラシオン・モンジュアル・デ・ファブリカン・デ・スペシアリテ・グランプユブリックとか、大衆に対することばが違うんです。同じ大会の名称です。ですからからしら文字で並べた場合に違うんです。そ



津村重孝氏

いへんな誤解を生じて困っているというのが薬の業界においてははなはだしいんです。ですから、アメリカでは大衆薬は雑貨屋で売っているんだ。自動販賣機で売っているんだということばが出て、そうするといかにも日本でいう大衆薬すべてがそうなんで、それだとすればおそらくそうやって自動販賣機で売られているのはよほど程度の低いものに限定されているのだろう。したがってアメリカの大衆薬は程度が低いんだろうというような誤解になって返ってくるんです。ところが行ってみるとそうではないんですね。

石坂 大体ヨーロッパもアメリカもそうですけれども、私の受けた感じでは、たとえば大衆薬をつくる場合に、昔は違います。昔は大衆薬から専門薬が出たんですけども、いまは逆に専門薬から大衆薬に進んでいく。そういう逆方向に主流が行きつつあるんですね。

それからプロプライタリー・メディシンということばが、エドワードさんが今度はつきりいわれましたように、一般大衆薬を登録制にして、しっかりと把握したいということをいっておられます。だから英語で

訳した場合にプロプライタリーメディシンと、フランス語の場合には、ラ・フェダラシオン・モンジュアル・デ・ファブリカン・デ・スペシアリテ・グランプユ・ブリックとか、大衆に対することばが違うんです。同じ大会の名称です。ですからからかうんでも並べた場合に違うんです。そこでも私変に思つたくらいです。

津村 それからホーム・メディシンとか、パテント・メディシンとか、そういういろんなことばが出てきているわけです。それが少しづつニュアンスが違つていていますね。

市川 それに欧米ではどこでも医薬分業が確立されていますから、その辺のバックボーンが日本と事情が違うということが、理解する上における一番大事なことです。

石坂 ところが実際はそうでないようなことをいっていますね。やはり医者のほうが……

津村 医者の影響力は強いには違いないけれども、医者は薬を売れないんですよ。

市川 大衆薬(OTC)を医者が処方するというところが日本とは全然違う点ですね。

津村 医者はアメリカでは大衆薬(OTC)を使用しない、ヨーロッ

— 10 —

パではする。そこら辺のところの考

え方は根本的にちがいます。ただヨ

ーロッパとアメリカとの共通点は、

医薬分業がはつきりしている。日本

は医薬分業が実際にあいまいであると  
いうことです。

石坂 だから私は今回薬剤師会議  
でも聞いてみたんです。「大衆薬に  
英語訳があるんですか」といった  
ら、「ありません」とのことです。  
とりあえずOTCでやってください  
ということをいわれました。

市川 ヨーロッパで医者が大衆薬  
を処方するのに抵抗はないかという  
質問をしたところが、最初はあった  
けれども、現在では何にもそれに対  
する抵抗はないというご返事をドイ  
ツでいただきましたね。

津村 しかし医者の方には抵抗は  
ないんですけども、今度はメーク  
ーのほうでは医者に気がねしながら  
大衆薬を売っています。ですから医  
者に処方してもらって、かつ自分の  
ほうは大衆薬として普通に直接消費  
者に売るという薬についての宣伝方  
法については、あまり医者を刺激し  
ないような宣伝方法を取るというこ  
とを特に気をつけてやるんだと言つ  
ていました。

石坂 それはエドワーズ長官が賛

美しておられたわけです。それを、よ

く守つておるといつて。

堀内 イタリアでもそういうことを聞

きました。

市川 ぼくは滝沢さんと、実はメー  
ーカーはどういうぐあいにしてシェ  
ア競争をするんだろうか。これは非  
常に疑問の点であつて、そういうこ  
とを話したことがあるんですけれど  
も、結局いろいろ聞いてみると、お  
医者さんとメーカーのプロパーとの  
人間関係が一番大事なんだ。だか  
らメーカーのプロパーはまず医者に  
アプローチして、何とか自分の会社  
の薬品を処方してもらうような方向  
に働きかけている。この辺の考え方  
が日本とは全然違いますね。

津村 ドイツではそして処方して  
もらって、消費者が買う。処方して  
もらつて買ってよかつたら、次は処  
方してもらわないので自分で買うとい  
うのがかなりあるという話をもして  
いました。

市川 しかし現実にはわざわざ保  
険で買えるものを金を出して買うと  
いうことはあまりない。だからほと  
んどは保険を利用して求めることに  
なるということも聞いたんですね。

石坂 その辺が医療保険費にだい  
ぶ影響があつたと思いませんね。

滝沢 あの話はドイツですね。そ  
れで私はドイツは全部国が出すのか

と思ったんです。フランスの話と少

しきい違うものですから。

石坂 エドワーズさんが一生懸命

規制しておられましたね。もっと大衆  
薬がそういう面でがんばってほしいと  
もつと消費者に自己療法とい  
うもののほんとうのあり方というも  
のをもう少しはつきりしてほしいと  
いうことをいっておりました。

堀内 石坂先生、エドワーズさん

が登録制にしたいといふのはアメリ  
カの国内のことをいっているわけで  
すね。そうするとアメリカでは許可  
制ではないんですか。

市川 この間コープさんから聞い  
てきましたのは、第一のセクション

がで、GRASの次がレギュラードラッ  
グ、それからニュードラッグ

、この三つに分けて再評価を考へて  
いるわけでしょう。だからグラスの

ほうで一応モノグラフをこしらえ

て、そのモノグラフが大きければ現

在売られているものもみんな包含さ

れるし、モノグラフが小さければ相

当オミットされる、オミットされた

だけをもつて薬を処方する場合には  
許可が要らないんです。

市川 それはモノグラフに大体準

じたものということですね。

津村 ええ、そうなんです。一般  
にそうだと思われているものは成分  
を多少変更したりしてもかまわな  
い。というのは、そんなことの取締  
りに手間ひまかける必要はないんじ  
ゃないか。それで事故が起つた場  
合の全責任は企業が負うべきである  
というような考え方なので、それで  
よかつたんだけれども、今になると  
それでは困るのでこれを登録制に切  
り替えようというふうにアメリカは  
思っているらしいです。一般に安全  
と思われる。一般に有効と思われて  
いるものというものをそのまま認め  
ようという形なんです。

市川 この間コープさんから聞い  
てきましたのは、第一のセクション

がで、GRASの次がレギュラードラッ  
グ、それからニュードラッグ

、この三つに分けて再評価を考へて  
いるわけでしょう。だからグラスの

ほうで一応モノグラフをこしらえ

て、そのモノグラフが大きければ現

在売られているものもみんな包含さ

れるし、モノグラフが小さければ相

当オミットされる、オミットされた



堀内 功氏

ものは結局ニュードラッグになるんだ。ニュードラッグになつたものはこれから新しく認可申請をしなければいけないということをいつていましたね。

津村

津村 その段階にアメリカはいま  
きているんです。そういう意味から  
いくと非常に各国の先の見通しは似  
てきて、いるような気がしますね。そ  
の一番の頂点にあるのはアメリカじ  
やないですか。E.P.Aの考えは各國  
に対して相当リーダーシップを取つ  
て、いる感じがしました。

大衆薬協会ですか。それが強力に効力判定やなんか、それを新薬同様の見方でやることに誤まりがあつたと、いうことを反省して、その点から今一度のエドワーズさんの演説が変わり

津村 最近変わつてきています  
ね。大衆薬に対する再評価は治療薬  
に対する洗い直しと全然別の観点で  
やるべきだということを認めでき  
ました。

石坂　ただ広告宣伝の場合に、太衆薬というものを治療薬に使うということはいってくれるなということをいつていました。

森本 津村社長がいわ

**武田** さてこの大衆薬関係者として各国共通の悩みや問題点が幾つか

森木祐純氏

あるわけです。それで共通のそういう問題点、悩みのほかにお感じになつたのは日本だけの研究課題なり、問題点があつたかどうか。大体さつき津村さんのおっしゃつたように、大筋においては悩みも問題点も各国一緒だということ、それはそのとお

て、すべてそのままであてはめられないでは困るという表現で出ておりまし  
た。

りだと思いますが、大会の第一回は、四つのパネルができて第一は総統的な世界協会の強調促進といふことで、第二は広告の問題でしょう。第三が包装の安全性。第四が将来の計画。こういうことでやはり広告の問題と安全性というものが、本会議の二

あるわけです。それで共通のそういう問題点、悩みのほかにお感じになつたのは日本だけの研究課題なり、問題点があつたかどうか。大体さつき津村さんのおっしゃつたように、大筋においては悩みも問題点も各国一緒だということ、それはそのとお

はい、  
会ありましたね。津村先生がおでに  
なりましたけれども、あそこでおそ  
らく承認というか、申し合わせがあ  
つたと思うんですがどうでしたか。

石坂 そうですか。欧洲の自主規制につきまして私、非常に憤慨しているわけです。さっきいわれましたテクニカルチームといいますか、それが各国でどうな内容が違うのかわからりませんけれども、われわれとして非常に困る。薬というのは、少なくとも

はい  
会ありましたね、津村先生がおでに  
なりましたけれども、あそこでおそ  
らく承認というか、申し合わせがあ  
つたと思うんですがどうでしたか。

いけないか、ナアレ、と云ふことをやつてもなかなかまとまらんので、そういう点についてはどうですか。

石坂 広告宣伝に關する第二バネルで取上げた歐州の自主規制の提案あれはちょうど総会の翌日である十二月一日にヨーロッパ連合会の總

は世界共通の悩みであり、問題点だからだろうと思うんです。そこでこれは今後この協会が取り上げて推進する事柄でしょうね。今後われわれの一般薬業界としては、どういうところに重点を置きそのほかに幾つかの問題がありますね。以後われわれの一般薬業界としては、どういそろに焦点をしほつてやっていかなければいけないか。パアーッと広いことをやってもなかなかまとまらんので、



ともアブノーマルなものをノーマル

ない。

に治すために使うものであつて新陳代謝がいかんとか、ホルモン代謝の表示方がいかんとか、オルガンの表示をしゃいかんとか、そういうことをいわれると、われわれは何のため薬をつくっているかわからないようになるから……といつておきましたよ。ぼくは非常に異論があるわけです。それでデイスカッションのときには、行つてくれといわれたので手をあげたけど、時間切れでした。非常にわれわれとしては困るんです。深刻な問題ですよ。

津村 広告の問題は非常にむずかしい問題ですね。これはわれわれも真剣に取り組まなければいけないと思いますね。

私は、さつき滝沢さんのいわれたように、日本独特として一体何があるかというとやはり日本人であるこの特殊性というような感じがするんです。というのは、メーカーも、官庁も、ものがあいまいのうちにあいまいに片づけていくということが、非常にプラスのよう思つていい。ところがこれが将来非常にマイナスに出てくるんじゃない。この辺でひとつ日本の考え方を、お互いに取り去らなければいけ

われわれがそう感じたのだから、まずわれわれから虚心坦懐になり、かつ自分たちのえりを正し、いうことも正し、しっかりやつていく。同時に官庁に対しては、そういうわれわれの態度を認め、お互に腹を割って話し合つて、結局、いい薬をつくつて国民に奉仕するということに両方で協力していくんだという、いうことを認めてもらいたいと思いません。そうしないと世界からおくれてしまふんじゃないかというような感じがしております。

市川 私も津村さんと全く同感でございまして、ナッターマンの社長がこういうことをいわれたのですがそれがいまでも頭にこびりついているんですが、それは、「企業であるから利益を追求するのは当然である。しかしわれわれは薬をこしらえて大衆にそれを提供することによつて、社会に貢献しているから利益がもらえるんだ」と、このことばは日本と全く同じなんです。同じなんですが、そこには裏づけがあるということです。

津村 しかし日本人は非常にピュアで、だから、わからぬものは疑わしい、疑わしきものは捨てろと、こうきててしまうんです。それがちょっと問題なんです。疑わしいけれども、いま直ちに実害のないものについてはしばらく置いておく。しか

市川一雄氏



庭薬といえども医家向けのエシカルと全く同じなんだ。同じような条件で下に置いて薬品はこしらえるんだと、いう徹底した考え方方が、社会に自信を持って貢献できる、企業としての経営姿勢だと思いました。

市川 されど、それがまだわからないんだから、それは捨ててしまえというのではなくて、それには時間と研究のために費用を相当使うべきである。けれどもそれがまだわからないんだから、それは捨ててしまえというのではなくて、それには時間と研究の努力の機会を与えてもらうということは希望するけれども、与えてもらいうからそれでいいんだじやなくて、与えてもらつている間に全力をあげてそれに取り組むというのです。このことはわれわれとしても大いに学ぶべきです。ドイツではこのことを特に感じてきましたので帰つてきてさつそく会社に報告したんです。

石坂 その点に関連して、WHO

についてですが諮問機関であるIFPMAそれと、われわれのWFPMは今後、緊密な連携をしていくところです。疑わしいけれども、いま直ちに実害のないものについてはしばらく置いておく。しか

われわれが解明してデータを出すから、もう少し時間を与えてほしいという感じですね。

**武田** とにかくあまりかかわりあ  
いたくない、あとは取締役の幹事み  
たいに思つて いるんです。

津村 WHOに行つて日本にはあまり情報がつたわらないと話をした  
ら、これは心外だ、ほしいものはど

どんどんいってきてください、私のところは門戸を開放しているんです。

あなたのほうは簡単に手紙を一本書けばいいんです。私のほうはそれに金をかけて、品物を印刷したやつをただでお送りするんですけど、こう

うことをやつているのに、どうも皆

さんあまり利用していただけないで、残念なんですといいました。私は実は内地で調べようと思って、W.H.Oの刊行物はどこで売っているのかといったら丸善だと言うので丸善に行ったら丸善にも総リストがないんだ。日本ではこんな状態ですよと、話したら、びっくりしていました。

滝沢 それじゃあ買いようがない  
わけだ。（笑）

ああいうのもできましたし、だいぶ  
変わってくるんじやないですかね。

津村 変わるかどうかわかりません  
んけれども、われわれも大いにそよ

上で、広告のいい面の価値といふものを失うような形でこの広告規制がもしあつたとしたら、私はたいへんだと思う。

じで、消費者に魅力を与えて引きの  
けなければいかん。そのあとを能書きとか、こまかパンフレットで説明する。それをユーザーがよく見

卷之三

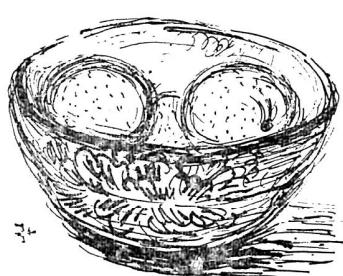
1723

卷之三

そういう意味で、われわれの意見がそういう上に立脚した形で、関係官庁との今後の意見の交換をして間違つても広告のいい意味の価値を失うような形への規制にならないよう

に考えていいかなければならんと、  
ういうふうに私は思いました。  
**石坂** ちょうど木水さんがいわれ  
ましたね。あのとき、ぼくしゃべる

うと思つたけれども時間切れになつたので、ページを出しまして、ページにはこういうふうに書いたんだす。普通の本でも、専門書でも、必ずタイトルがある。われわれの広告のアピールする文句はそれと全く同



なるようにしなければいけない。な

ぜかというと、たとえ一人が非常に間違った薬の広告をしたとしても、一般人は「薬の広告は悪い」とし

かいわない。だから、われわれは全力をあげて全体の品位の向上といいますか、そういうことに努力するの大切なんだ」というのです。これは全くそうだと思います。

石坂 暫定的な自主規制をやれと言っていますね。

津村 ですからそれが自主規制だと。ただ自主規制というのは強制力がないんです。世界中で強制力があるのは英國ぐらいじゃないですか。英國はユーラーとマスメディアとエージェンシーと全部一緒になつてある規定をつくって、その規定からはされたものを自発的に広告に載せないとというんです。それ以外の国は、自主規制に強制力がないために非常に悩んでいる。

ヨーロッパではいま、ある会社がとんでもない広告をしているので、その会社を協会から除名しようかといふ問題が起っているということまでいっているんです。というのは、一生懸命説得しているらしいですが、説得に応じなければそこまで強制力をつくっても、やはりわれわ

れ全体で世界の品位を上げていく。

自分達全体の品位を上げるのはありますか、そういうことだというような態度

は、これから日本でも大いにやらなければいかんと思います。そういう

ことをバックにして、官庁に対しても、われわれはここまでやっているんじゃない。だから、われわれの自主規制に対して、官庁のほうでも協

うというような話もありましたね。

中小企業のためのものだがそれには大きなメーカーも金を出すんですね。

情報というものは無批判にすぐ受け入れられてしまうおそれがあります。

たとえばビサチンはいかんといつても、ほんとうにいけないのかどうかの確かめ方が、どこまでほんとうにいっているのか、このごろ非常に疑問を持っているんです。その

いい例がチクロの問題です。ヨーロッパではチクロを禁止しているところはないわけです。それなのに日本

あたりは食品に主眼を置いていますけれども、薬品もやがてそれで安全性の確立をはかつていこうといふことに進んでいます。ご承知のとおり、サリドマイドからチクロ、キノホルム、最近はビサチンがいかんと、こういうふうにだんだんエスカレートしていく感じなんです。

で、関係業者としては絶えず戦々恐々としているなければならない。こういう状態ですので、お互いの情報交換が国内においても必要じゃないかと思います。自分のほうさえ何でもなければいいということではなしに、何か問題があつた場合は、すぐそれを提起し、みんなで協議し、みんなの力で解決できるものは解決し

ていくことも必要じゃないかと思います。

津村 ただ、その場合、否定的な



左から津村・堀内・滝沢・森本の各氏

森本 安全性の問題から言つてもね。

武田 日本にも食品、薬品の安全研究所ができたんです。これは、さしあたりは食品に主眼を置いていま

すけれども、薬品もやがてそれで安全性の確立をはかつていこうといふことに進んでいます。ご承知のことおり、サリドマイドからチクロ、キノホルム、最近はビサチンがいかんと、こういうふうにだんだんエスカレートしていく感じなんです。

で、関係業者としては絶えず戦々恐々としているなければならない。こう

に問題になると思いますね。

石坂 チクロの事は去年、アメリカと日本とカナダと集まつたとき

と思いません。

自分のほうさえ何でも

なければいいということではなしに、何か問題があつた場合は、すぐ

それを提起し、みんなで協議し、み

る意味ですが共同の試験場をつくろ

おらんのは非科学的な証拠だとえら

く憤慨しておりました。そのうちに

きつと規制は変わりますよ。

津村 憤慨してくれるのでいいんですけれどもそれだけですと今迄の  
ようにそれが日本では禁止になっちゃうでしょ。そういうことが起こつた  
たといふことに對して、今後一体どうをどうやってプロテクトしていく  
かという問題を考えませんとビサチンはいかんといわれたからとめちゃ  
うんだといっておいてあとから、いや、あれは実験が間違つていたん  
ですというようなことが起つたらどうするんでしょう。そんなことは起  
こらないようにしなければいけないですね。これが非常にこれからず  
かしい問題だと思います。

ふうに一つの規制が非常に危険の少ない部分にまで及ぶことが、はたしてほんとうにあるとすれば、それでいいのかどうかという問題がありますね。

津村 それから話は少し違います

がもう一つ、世界中の眼が日本に向いているということです。非常に関心を持っている。その一つのあらわれとして来年、理事会を日本でやつてくれという要請が来た。要請を受けるかどうかは日薬連にも相談しなければいけませんが、私は当然受けたほうがいいと思いますけど、そういうふうに非常に日本を注視しているということも、今度の大余会でわれわれが認識した大きな点です。

たぶん来年の十月ごろ理事会がある。それを契機にして外国のその人たちの情報が一般的の日本にいるメカーネの皆さんとのころに浸透していくであろう。そのためには、今度行つた連中が大いに活躍して、そのお仕事の手伝いをしなければならない。なんじやないかというふうに、私は感じてきた。ですから、その点、



## アーハルト氏の憶上で討論

するわけです。もしかしてE.D.L.の影響がそういうものに不利になるとあれば、これはドイツと一緒に考えて一緒に各官庁にも働きかけるような形が必要じやないかと思います。

**石坂** ドイツと日本は一番よく似ています……。

**滝沢** ドイツの場合には、特に日本に対する質問が非常に多かったです。日本に関心を持つておられるところは、日本にも相当な輸出をしているということのようですね。

将来向こうの品物がもつどんどん日本に入る可能性があるのじやないか、ということを感じますね。

**武田** それは日本が、今日世界第二の生産国になつて、その中で占める一般薬は約三〇%そうすれば諸外国も、日本を医薬品のいいマーケットだと思うわけです。だから、何とか売り込もうという考え方と同時に、日本から何かいいものを入れたいといふ考え方も非常に多いそうです。

**津村** それは非常に多いです。日本からいいものをほしいとよく言われます。

**武田** 何かいいものを持ってきてくれたかということのほうが多いらしいです。その点は、やはり日本はそれだけの実力を持ってきたといえ

るわけです。

津村 会議の国際用語に日本語が入ったんですから。(笑)

武田 これはそれだけ認められたということだと思います。

森本 それはそのとおりですね。

英語、ドイツ語、フランス語、そして日本語と日本語の通訳が完全に終わるまで、皆さんじつとしていなければならぬ。それにしても非常によくお聞きになっていたようです。拍手する部分も一番多かったです。

堀内 パッケージの安全性という手の部分が内容によるかどうかはともかくとして、日本に対する関心が高いということはわかりましたね。

堀内 ことをいつていきましたね。しかし母親があけられないのを三歳の子供があけたという話もありましたし安全容器と特に子供に対する安全性はむずかしい問題のようですね。全力をあげて包装の安全という問題を研究しているんだけど、いまのところ成功していないということをいついています。けれども成功しているか、していないかということよりは、それを安全にしようと、企業が全力をあげてそれに取り組むという態度がなければいけないと思います

武田 最後にもう一つお伺いしま

すけれども、わが国がW.F.P.M.M.

の世界機構の中に加盟し今後ともに

いろんなことを実施し、ご相談していかなければなりませんが、日本と

してこの世界協会に加盟したメリットというのはどういう点でしょうか。

これは津村さんからご説明いたしましたほうがいいと思うんですが。これがある程度ないと、今後どこまで力を入れて日本がやるか問題ですかね。

津村 簡単にいいますと、私は賛成側ですから、はつきり賛成側とき

まった者以外の方から、もしご意見があればそれを伺いたいですね。

武田 滝沢さんどうですか。日本

がこの国際連盟に加盟したことのメリット、こういうものをお感じになるか、あるいは期待できるか、その点いかがですか。

滝沢 もし世界大会だけ出たら、おそらくわからなかつたと思いますけれども、各国を回って、さつきもお話をありましたように、事情がほとんど似ているということがわかりますと、やはりそれは世界的な組織というのは、いろんな情報交換の面とか、これから動き、一緒に行動

が。 武田 堀内さんはどう考えますか。

が。

武田 堀内さんはどう考えますか。

堀内 私も初めて出たわけですが、それでも、今まで安全性、有効性の問題も国内で聞いておりましたし、したけれども、やはり各国を回ったあたり、ああいう大会に出てみて、もう少し自覚を深めたという感じで、メリットがあつたような気がします。

そうしなければいかんと思っていましたけれども、やはり各国を回ったあたり、ああいう大会に出てみて、もう少し自覚を深めたという感じで、メリットがあつたような気がします。

リットがあつたような気がします。



滝沢英夫氏

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

が。

武田 京都大学の人、人が発表したわ

けでしょ。

それが

あつただけでま

だ厚生省は取り消すとか何とかい

うことはやつていな

いわけですが、武

田が発売を中止したとか、製品の回

収を始めたとか、こういうことをち

よつとニュースで見たんです。そ

うことで先走つてい

いのかどうか

、ちょっと疑問があります。ただ、

いま、とにかくメーカーは何か事故

が起こりはしないかと、非常におそ

れています。

サリドマイドで

すっかり悩まされていますから、そ

れにスモン病で五十数億の損害賠償

の要求が出ているわけでしょう。だ

から、これは関係メーカーとしては

るんじゃないかということで逃げ回

るということではなしに、やはり各  
国との情報交換の場を持つて、堂々  
と、主張すべきものは主張するん  
だ、正すべきものは正していくとい  
う姿勢を、今後、家庭薬メーカーは  
持つていかないと、何かいわれてく  
るのはかなわんだということでは  
なしに、そういう中から大衆から信  
頼される大衆薬を造るべきです。

そういう意味で、私は世界の皆さん  
と忌憚のない意見の交換、資料の交  
換というものを、今後ますますその  
必要を深めてきたと、こういうふう  
に思います。そういう意味で私には  
W F P M M に参加することは大切な  
ことだと思います。

津村 私の賛成説としては、大企  
業は世界の情報を十分持つておられ  
るでしょう。単独でも出来るから、  
そういうものの必要性は少ないかも  
しれないけれども、家庭薬のメーカ  
ーにとっては W F P M M の価値は絶  
大であるというふうに、私は認識し  
ているんです。それを通じて WHO  
の連絡も十分とて、世界のニュー  
スを把握するということだけでも、  
私は参加した意義はあると、こうい  
うふうに思っているんです。

武田 ありがとうございました。

この会に加盟したことによるメリッ  
トはありませんと、今後のことでもむ  
ずかしいし、あるいは来年引き受け  
る理事会にも、こういうメリットが  
あるんだという自信に満ちたものが  
ない、引受けることの説得はむず  
かしいと思います。だから私は、今  
後我が国がこのメンバーの一員とし  
て大いに胸を張っていくには、会員  
の皆さんにこういうメリットがあり  
ますということを、自信を持つてい  
えなければならないと思います。そ  
うでないと非常に弱いと思います。  
まだその他、いろいろ発言もあ  
るかと思いますが、そういうことで  
この大会は閉じたわけです。二日間  
でございましたけれども、今後大い  
に、協会に加盟したことによって、  
日本に何らかの得るところがあれば  
非常にけつこうだと思います。

津村 一言つけ加えさせていただ  
ければ、そういうふうに初めて外国  
にゆかれた方も多いのに、皆さ  
ん非常に得るところがあつたといつ  
て帰っていただいた。今後もこうい  
う機会があれば、また新しい方にた  
くさん参加していただきたいとい  
ことを、理事の一人としてお願ひし  
たいと思います。どうもありがとうございました。

一了一

広告委員会主催の  
講演会要旨

## どんな広告が販売 に寄与するか

日本マーケティング研究所  
代表取締役 水口 健次

① ク売れるクということはどう  
いうことか「一コの商品が売れた」  
ということは、その立場、立場に置  
かれた人達によって、受け取り方が  
違うはずである。宣伝部員にしろ、  
販売部員にしろそれぞれ自分の置か  
れている立場が、一番貢献したと自  
負するはずである。

しかし、たつた一コの商品でも、  
それが売れるためには、製造から消  
費者の手に渡るまで、数限りない人  
々の手を経ているものである。その  
関与者を大きく分けると、メーカー  
の製造関係者 販売関係者そして卸  
店、販売店、量販店、消費者、オビ  
ニオン・リーダーの七人になる。

これら七人の関与者の間には、十  
一のコミュニケーション・ユニット

が考えられる。  
現在、商品が売れるということ  
は、このような七人の関与者、十一  
のコミュニケーション・ユニットが  
うまく機能しているということには  
かならない。その意味で、現代の販  
売競争とは、まさにこの「しくみづ  
くり」の競争なのである。

② ク広告が届くクとはどういう  
ことか  
広告という一つの販売手段をと  
た場合、メーカーと消費者とのユニ  
ットがポイントになつてくる。消費  
者は一日に一六〇〇以上もの広告に  
接觸するといわれている。この状況  
の下でメーカーが送る広告は、どれ  
だけ消費者に受け入れられているの  
だろうか。

消費者に本当に浸透するまでに  
は、次のような段階がある。

認知 — 認知 — 経験 — 使用 — 固定  
再生 — 再試験 — 現在 — 愛用

新製品が発売された場合、まず消  
費者の一人でも多くに認知してもら  
わねばならない。その認知のされ方  
でも純粹にその商品名が想記（再生  
認知）されていればよいが、ヒント  
あるいは実名をあげてやつと思いつ  
される（再認知）のでは未だ心細

いのである。次に、その商品を一度でも使ったことがある（試用経験）そして現在も継続して使用しているか（現在使用）、さらに今後その商品を使用し続けるか（愛用固定）が問題なのである。

広告が届くということは、最終的には愛用固定層が増大することでなければならぬ。知名度が九〇から一〇〇%あつても、試用経験、現在使用、愛用固定と進むにつれて、その比率は下がってしまうものである。なんとかして、この歩どまりを改善しなければならない。

③ 販売に寄与する広告とは何か  
そこでは愛用固定の比率を上げる広告、つまり販売に寄与する広告とはどんなものであろうか。

今までの広告は、ダイレクトに「是非この商品を買って下さい」（事前説得）という。新規需要者に

対するものであつたが、これは商品の数も少なく、作れば売れる時代のものといえよう。現在のように数限りなく豊富な商品の山の中に生活し、セレクトするのも大変な時代において、商品を買った人の満足感を引きだす（事後説得）広告が必要となつてくる。さらに、販売員、販売店、そして現在使用している消費者

を勇気付けるような、各ユニットの活性化に寄与する広告が重要なのである。

さらに、送り手側としては、今まで「宣伝部から消費者へ」という飾りだけの言葉と絵の伝達ではなく、研究部員の姿勢が伝達されねばならない。表現にしてもアートからコピーへ、訴求対象も所得水準が上るにつれて、金をかせぐ主人から財布の紐を解く主婦へと変化するであろう。

ここで問題になるのは、製菓業界の広告が、タレンントに依存しきりいるということである。美しいアートから説得するコピーへと変りつつある現在、タレントに頼り、タレントで他商品とセグメントするという手段を、ここでもう一度考え方直す必要があるのでなかろうか。

④ 広告を効かせるしくみとは何か  
つまり、教科書的な「演繹のマーケティング」から、「帰納のマーケティング」への転換が、根本的に要請されてくるであろう。

出すことである。

第一のポイントは、先にいった愛用者を勇気づけるコピーであり、第二のポイントは、少なくてよいから、そういう人を組織化することであり、第三に、その基盤の上で販売店の活動を活性化することであり、第四に、現に販売店が展開している活動を理論化することであり、第五に、そこから「帰納のマーケティング」を導き出すことである。

つまり、教科書的な「演繹のマーケティング」から、「帰納のマーケティング」への転換が、根本的に要請されてくるであろう。

## 寒い朝

玉置石松子

商用範囲内ザラ紙の顔寒し

暖房過熱さいはてを行く寝台車

無機物として飛機を置く冬野中

ジュラルミンきらきら冬日を切返す

霜夜来て花咲蟹の真紅を買ふ

鋸炭ストーブ梁にひびかひ旅の曉

釧路の空凍てて太古のままの紺





正門よりみた岡谷工場

## 養命酒岡谷工場

=自然の中の工場=

— ようこそ、この山の中の工場まで。

……やっぱり信州はいいですね。新宿を発つて中央線で来たのですが、列車が信州にはいると、とたんに空は抜けるように青いし、空気はおいしいし、諏訪湖も晚秋の日を受けてまぶしく輝いていましたね。

この岡谷工場は諏訪湖から近いのですね。

—ええ、諏訪湖から天竜川が流れ出ていますが、その流れに添って二キロくらいのところです。

……養命酒が造られているのは、

この岡谷工場だけですか。

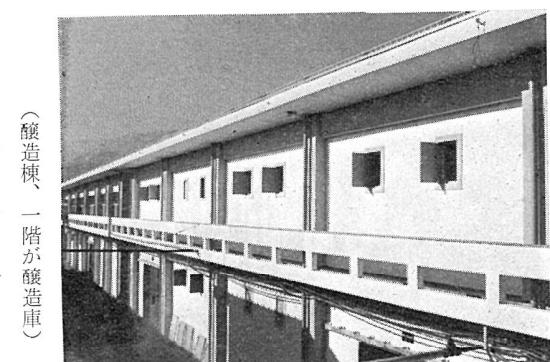
—岡谷工場のほか、養命酒が生産されていますが、伊那谷の第一工場でも造られていますが、大部分はこの岡谷工場で製造されています。

……すると、いずれも信州で造られているわけですね。ふつう考えま

すと、工場はもつと交通の便利なところにあってよいと思うのですが。

—たしかに、岡谷工場にしても第一工場にしても、製品や原料の輸送といった点からみると、必ずしも適切なところではありません。

しかし、ご承知かと思いますが、養命酒は一口に申しますと、あらかじめ処方した各種の生薬を原酒に計



(醸造棟、一階が醸造庫)

合釀して、成分を滲出させるとともに、一定期間熟成させてでき上がります。

……つまり、製造工程の中に醸造過程が含まれているわけですね。

—そうです。このため、工場の

中の設備はもとよりですが、工場をとりまく自然の環境、つまりきれいな空気、季節の気候の変化、そして良質な水の得られことなどが、大切な条件となってきます。

最近は、工場の建物の構造、温度や湿度を調節する装置、また醸造技術などが進歩してきたとはいってもやはり、その土地の気候風土は、計

器などでは捉えられない微妙な影響を製品に及ぼします。

養命酒の生まれたところが信州ということもあります。今もなお信州で造られているのは、こうした理由があるのです。

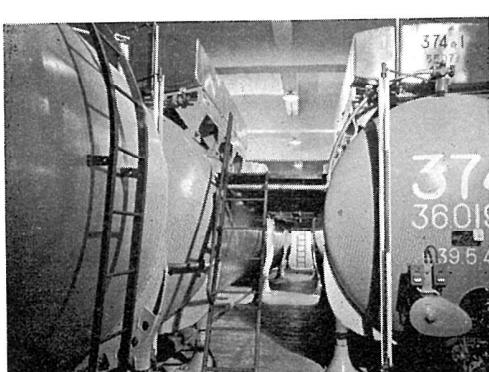
……養命酒の工場の周囲にもう一つ自然環境という工場があるともいえますね。

—さあ、それでは工場の中をご紹介いたしましょう。

この工場は昭和三十七年に造されました。大きく五つのブロックからできています。

まず、全体的な事務を行なう管理

(醸造タンク)



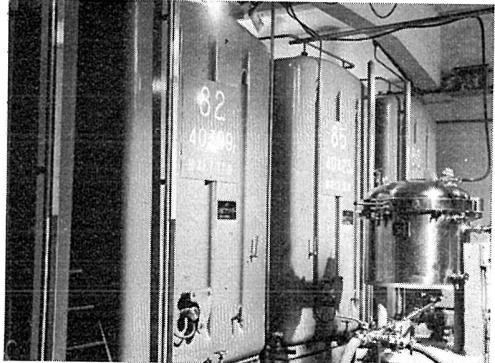
棟。講堂や食堂などもこの建物の中にはあります。

次に原酒棟。ここでは養命酒に使われる原酒が造られています。

次は醸造棟。この建物は二階が薬草庫などの原料関係、一階が養命酒の醸造庫となっています。

次は瓶詰棟。ここは三階が包装資材庫、二階が瓶詰・包装室、一階が製品庫となっています。

(精成タンクと汎過装置)



に製品のそれにもとづいて有機的にレイアウトされており、一つの建物の中でも、作業の流れに添った合理的な設計がなされています。

……よく養命酒は、伝統にもとづいて……といわれますが、この工場の中で伝統はどのように生かされているのですか。

——この点は、とくに原酒を造るところから瓶詰する直前の養命酒の殺菌までの間に見ることができます。どのような製品にも、その製品にしかない本質と価値があります。

そして、もつてあるその本質が自なものであればあるほど、製法や製造工程もまた独自なものが必要となるともいえます。

それは同時にその製品の特徴であるとともに、製造工程もまた独自なものが必要となるともいえます。

養命酒は原酒を造ることからはじまって、製品になるまでの間にいろいろな工程がありますが、最後の瓶詰、包装の部分を除いたほとんどの工程と製法が独自なもので、ここに伝統が生かされているわけです。

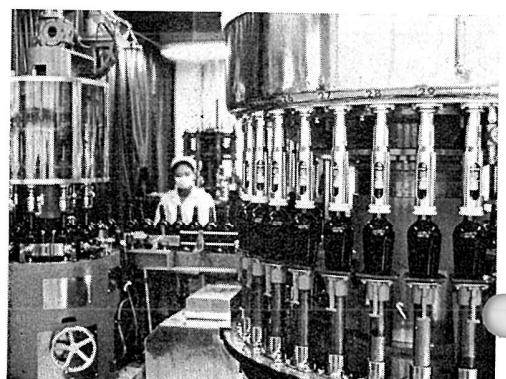
ですから、醸造タンクをはじめ、その間の機械や設備もほとんどは独自に設計、開発されたものです。

しかし、このことはただ機械や設備だけでなく、同時にそれに携わる

ところから多くの表彰状や賞状をい

ただいておりますが、つい最近も厚生大臣から表彰を受けました。

このことについては、次のようにも考えておきます。



(瓶詰室の一部)

このように養命酒は、恵まれた自然環境、伝統を生かした科学的な設備そして携わる人々の気持がいつもよになつてはじめて造られるといえましょう。

——年間一万二千キロリットルですが、まもなく、限度いっぱいになります。

……製造能力はどのくらいですか

すべてが動いているわけですが、衛生管理も当然その一環として進められているということです。

——構内を案内していただいて気がついたのですが、非常に整然としていて気持ちがよいですね。

一 製品の性質からも、工場内の衛生管理については特に気をつけております。

この点、これまでにもいろいろな

ケ根市に四十七年秋の操業開始をめざして駒ヶ根工場を建設しています。

駒ヶ根工場は、中央アルプスのふもとの高原にあって、敷地の広さが約二〇万平方メートル。第一期工事が完成しますと、年間一万キロリットルの生産態勢が整えられ、将来は

## 薬とともに四十

有余年（承前）

松田金之助

衣料に食料にすべて統制が布かれ  
た次に薬も当然統制を受けました。

大阪に統制組合が設立された後まもなく東京にも東部統制組合が生れやつと卸とは名ばかりのマル金商店もそのはし端に連り戦争と医薬品、当然統制を受ける事は致し方はないものの統制品として配給される品は極めて少量で仕事としては到底商売はなりません。とに角どんな薬でも散らし暗黙の中に平然と行われました。

三年は所謂闇商売は物すごく火花を飛ばすなり右から左へ動き同業者が、薬品から食料品、衣料品に迄手を出さんもあつたのは当然といえましょう。真珠湾攻撃より始まつた本當の意味の大戦争は始めは調子もよく毎

夜伝票の整理しながらきくラジオの日本の勝利に誰もが神國日本とうなづいていたのも何時間に空襲空襲の噂におびえ疎開へやつと決心がつき永年取引いただいた今の青梅市に家族を疎開させた時正に昭和十九年の秋でたしか十月の木か十一月の始めの様に思います。

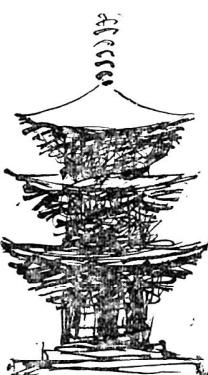
細々のなかにも芝の愛宕山下にあ

る店も捨てて置けず室内と交代で青梅と芝とを往復し青梅の須崎商店のナオリ膏を東京に持ち込み薬があると知らさればどこ迄も取りに行き金で売れる今の薬業界では全く想像もつかぬ時代でした芝から青梅に帰る夜は、お札の束を人に見つからぬ様にわざわざ汚ない入れきれに包んで持ちかえたものです。

愈々其の年も暮れようとする頃東京は毎日の空襲で段々と焼の原と化してありました。忘れようとしても忘れない昭和二十年三月十日芝の店に唯一一人で居た私くしは愛宕町一二丁目地区も激しい空襲によりついに火災より守り切れず大八車に荷物を少々のせて只一人命からがら逃げ出し、日比谷公園でやつと近所の向う。途中鬼怒川渓谷では、今を盛りの紅葉を賞で、五十里ダムより湖畔をドライブし、一同絢爛なる紅葉

帰りましたが商売に必要なソロバンも思いがけなく一個疎開してあつたため助かりましたが青梅の町はまだ焼けなかつた為め日常の必要品を集めめた焼あと愛宕町に戻つては見たものの心の悲しさ空しさはどうする術もなく自分で自分をおさえる事も出来ませんでした。（つづく）

（東海貿易・社長）



### 〈委員会から〉

厚生委員会

昨秋十月二十八日、秋の懇親会を行

川治温泉柏屋ホテルに催し、一同浅草より東武特急にて出発し、一路川

カントリークラブに開催致しました。では其の後のTKGC及び碁会

の成績を申上げます。

TKGC（ゴルフ会）

第二回 四十六年九月十七日

於 東京ゴルフクラブ

優勝 永井正春 一等 滝沢英夫



懇親会……乾杯！

第三回	四十六年十一月十一日
於	狹山ゴルフクラブ
優勝	太田 昭 一等 伊東 稔
二等	山崎 寅 三等 中尾義隆
四等	会田 勇 五等 大島秀元
B B	永井正春
東京家庭園藝会	日本棋院中央会館
第三回	四十六年十一月十七日
優勝	蛭谷文七 四級 三勝一敗
二等	渡辺吉康 四段格三勝一敗
三等	橋本逞三 五級 三勝一敗
四等	中村源三 五級 三勝一敗
本年も皆様方の御期待に添うべく、 協力に対し深く感謝致しますと共に、 尚昨年中に於ける組合員各位の御 支援、御協力下さるよう御願い致し ます。	
(町田)	

の下に渾されて參りその間、家庭  
薬各社の労務問題に關して、非常に  
有益な会合を持ちえましたことを改  
めて厚くお礼申し上げる次第であり  
ます。

的立場から推進して行きたいと考えております。

組合秋季懇親会を柏屋ホテル（川治温泉）にて三八名の多数会員が参加開催し、眞に盛会を極め当日懇親囲碁、麻雀大会を、翌二九日懇親ゴルフ会鬼怒川カントリークラブにて夫々開催有意義な催しあつた。

勞務委員會

労務連絡会に

## 「」田席のおすすめ

優勝 太田 昭一 伊東 稔  
二等 山崎 寅三 中尾義隆  
四等 会田 勇 五等 大河内清義  
B B 永井正春

東京家庭選碁会 日本棋院中央会館

第三回 四十六年十一月十七日

優勝 蟹谷文七 四級 三勝一敗  
二等 渡辺吉康 四段格三勝一敗  
三等 橋本逞三 五級 三勝一敗  
四等 中村源三 五級 三勝一敗

尚昨年中に於ける組合員各位の御協力に対し深く感謝致しますと共に本年も皆様方の御期待に添うべく、銳意努力致しますのでより一層の御支援、御協力下さるよう御願い致し

勞務委員會

この 46 年 4 月から当津村順天堂に代り微力ながら當番会社をやらせていただいておりますものの、力不足の故か、なかなか各社様のご希望に添えないでおりますが、今後の労務問題の重要性にかんがみ従米以上のご助力をいただき、この会の目的達成に努めて行きたいと考えております。

ご承知の通りこの会の目的としては、各社の労務事情の紹介、資料交換、また労務関係問題の共同研究その他等をあげており着々とその実績を上げておりますものの、毎月ご出席いただいたしております会社数は平均 7 ~ 8 社で、家庭薬協組構成会社の 10 % 位よりありませんので、労務問題の重要性から考え、もつと多数の会社のご出席をおすすめする次第であります。

この46年4月からは当津村順天堂に代り微力ながら当番会社をやらせていただいておりますものの、力不足の故か、なかなか各社様のご希望に添えないでおりますが、今後の労務問題の重要性にかんがみ従来以上のご助力をいただき、この会の目的達成に努めて行きたいと考えております。

ご承知の通りこの会の目的としては、各社の労務事情の紹介、資料交換、また労務関係問題の共同研究その他等をあげており着々とその実績を上げておりますものの、毎月ご出席いただいております会社数は平均7~8社で、家庭薬協組織成会社の10%位よりありませんので、労務問題の重要性から考え、もっと多数の会社のご出席をおすすめする次第であります。

そして出来うる範囲内で自社の労務関係問題を紹介し合い、他社の現況をお伺いし、またご批判をいただく等、実務者としての見識を深め、家庭薬業界の現在以上の発展を労務



## 懇親会……マージヤン大会

事務局から

○十月二八日東京都家庭薬工業協同

会社名 株式会社津村順天堂  
係員名 総務部 越後 以上

一、演題所 東京薬業健保会館  
「どんな広告が販売に

卷之二

一、講師　日本マーケティング研究所所長水口健二先生

〇十二月九日午後二時から昭和四年受賞祝賀会をパレスホテルに於て東京医薬品工業協会、東京薬貿協会、東京都医薬品卸協同組合、東京都協同組合、東京都家庭薬工業協同組合の四団体主催のもとに開催し出席人員百六十名に達し盛会裡に終了した。

○十二月十日午後四時から当組合会議室で昭和四六年受賞祝賀会並に懇親忘年会を開催し、受賞者に記念品を贈り、その栄与を心からお喜び申し上げました。

勲四等旭日小綬章

藤井得三郎殿

(株式会社 竜角散)

○藍綬褒章

津村 重倉殿

(株式会社 津村順天堂)

同 中村 千春殿

(和光堂株式会社)

同 高橋 正道殿

(友田製薬株式会社)



### 〈関係団体より〉

東京都家庭薬軟式野球連盟秋季野球大会は十一月七日より同二十一日まで十八チームが参加し、左記の成績を以て盛会裡に終了した。

優勝 太平化学製品株式会社  
準優勝 養命酒製造株式会社

三位 救心商事株式会社

### 編集後記

日本大衆薬懇談会も具体的活動に入り、新井事務局長の就任で体制も整いつつあります。これからは一層会員間の緊密な連帶意識を固めることが大切です。

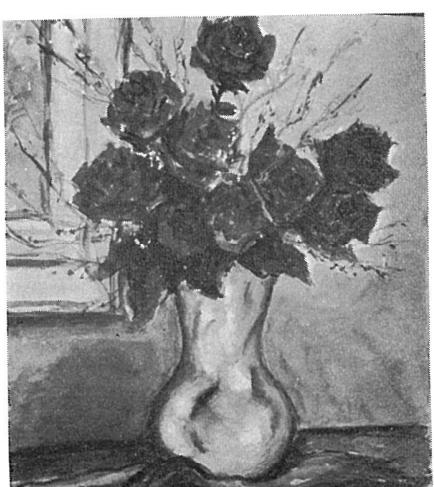
一月末発行の予定が遅れ申し訳ありません。

○ 東京都知事賞  
樋石 忠興殿

(三宝製薬株式会社)

同 中西 三樹夫殿  
(友田製薬株式会社)

かていやく 第二十二号  
東京都家庭薬工業協同組合会報  
昭和四十七年二月一〇日発行  
編集・印刷・発行  
東京都家庭薬工業協同組合  
東京都中央区銀座八・十八・十六  
電話(五四三)一七八六



堀内伊太郎氏

が、医薬品メーカーとしての責任を果すことを第一に心がけている、と云う話は頂門の一針として、充分耳を傾ける価値があります。

どちらを向いても良い話はありません。いっそここは体に気をつけて、あわてずあせらず行きましょう。